

平成 24 年北信地方事務所の主な出来事

通年

長野県北部地震で被災した栄村で本格的な復興が始まりました。

平成 23 年3月 12 日未明に発生した長野県北部地震で被災した栄村で、2月に栄村震災復興計画策定委員会が設置され、10月に計画が策定されました。

7月には天皇・皇后両陛下がお見舞いのため村を訪問されました。

地方事務所でも、復興計画に沿って、国の復興交付金や長野県栄村復興基金の活用など、本格的な復興のための支援を引き続き行っていきます。(地域政策課)

【農業関係】

被災農家の営農再開のため、農地の復旧をはじめ畜舎や堆肥舎、水稻育苗施設、農業機械等の整備を進めました(12月にはすべての農地復旧が完了)。また、豪雪の残雪対策も進めた結果、復旧面積の87%で作付が行われました。特に水田は震災前の91%の水稻作付が再開されました。昨年に続き作付が困難な水田には代替え作物としてのそばの作付を支援し、「福幸そば」として販売されました。(農政課・農地整備課)



【山地災害関係】

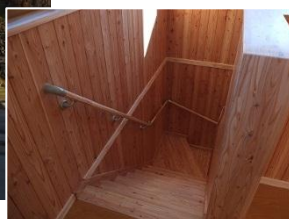
大規模な土砂災害が発生した中条川では、減勢工、谷止工、床固工、及び誘導堤が完成し、順調に復旧工事が進んでいます。また、森・高町及び屋敷地区での治山事業が完成し、主な被害箇所15箇所のうち5箇所が復旧しました。(林務課)



【住宅関係】

震災復興村営住宅の建設に支援を行い、8地区で18棟31戸が竣工、11月下旬より入居が始まりました。これにより応急仮設住宅の一部がその役目を終え、解体が開始されました。

なお、復興住宅等に地元産のスギを活用する取組も行われ、地域材の地産地消促進につながりました。(建築課・林務課)



1～3月 平成 18 年以来の豪雪となりました。

1月下旬からの大雪により、2月1日14時現在の積雪深が野沢温泉で236cm、飯山で199cmに達しました。同日から3月29日までの間、飯山市・野沢温泉村・栄村に災害救助法が適用となり、県の豪雪警戒本部設置と同時に北信地方部を設置しました。

この豪雪で、りんご・もも・ぶどうの樹体被害やハウス等の倒壊により5,600万円余の農業被害が発生しました。また、春先の農作業に間に合わせるため、管内4市村で農作物残雪対策事業を実施し、農道等の除雪や消雪剤費用への助成を行いました。(地域政策課・農政課)



2～3月

これまで見られなかったニホンジカによる農業被害が発生しました。

山ノ内町金倉地区において、ニホンジカによる果樹園での被害が管内で初めて発生し、2.5haの果樹園のほぼ全ての果樹の幹が食害を受けました。このため、広域捕獲隊によるニホンジカの捕獲の試みや、冬季捕獲のための講習を行い、捕獲活動の体制を整備しました。(林務課)



4～11月

地すべり災害のため(主)飯山斑尾新井線が通行止めになりました。

4月29日に発生した地すべりにより、主要地方道飯山斑尾新井線の飯山市分道地区が通行止めになりました。住民や斑尾高原を訪れる観光客の皆様には大きな影響がありましたが、冬の観光シーズン前の11月26日に復旧工事が完了し、通行止めが解除されました。(商工観光課)



6月

長野県植樹祭を野沢温泉村で開催しました。

6月9日、「育てよう 未来へつなぐ 森づくり」の大会テーマの下、野沢温泉村オリンピックスポーツパークにおいて県植樹祭を開催しました。

県民の皆様をはじめ緑の少年団、森林づくりを支援する企業・団体等、1,400人の参加をいただき、ノザワツバキ、スギなど4,200本が植えられました。(林務課)



7月

長野県北部を震源とする地震が発生し、中野市で被害がありました。

7月10日、県北部でマグニチュード5.2の地震が発生、中野市・木島平村で震度5弱、飯山市・山ノ内町で震度4を観測しました。管内では、中野市で重傷1名、軽傷2名、一部損壊9棟の住家被害、学校でのガラス破損等の被害がありました。7月10日から7月23日まで長野県警戒連絡本部及び北信地方部を設置し、情報収集等の対応にあたりました。(地域政策課)

8月

平成27年春の北陸新幹線飯山駅開業に向けて、官民一体となった対策組織が立ち上がりました。

8月24日に信越9市町村広域観光連携会議の拡大総会が開かれ、観光団体や商工・農業関係団体、交通事業者などが新たに加わり、平成27年春の北陸新幹線飯山駅開業に向け互いに連携しながら、豊かな自然環境などの観光資源を最大限に活かした広域観光連携事業を行うこととなりました。(商工観光課)



11月

平成23年度「地域発元気づくり支援金」事業優良事例表彰式を実施しました。



平成23年度に「地域発元気づくり支援金」を活用して実施された事業の中から、魅力あふれる地域の元気づくり特に貢献した5事業の優良事例表彰を11月1日に山ノ内町で行いました。

優良事例表彰を受賞した各団体から事例発表をいただいたほか、知事表彰を受賞した「やなぎらんの会」の活動拠点である高天ヶ原湿原及び志賀高原エコパークのコアエリアにあたる信州大学自然教育園の視察を行いました。(地域政策課)

12月

北信地域定住自立圏が形成されました。

中野市と飯山市は、6月に連名で定住自立圏構想の中心市宣言を行い、定住自立圏の形成に向けて圏域の中心的な役割を担う意思を表明しました。また、12月には連携町村との定住自立圏形成協定が締結され、定住自立圏共生ビジョンが策定されました。今後、中心市と連携町村とが役割分担と相互の連携協力のもと地域の活性化を図る取組が進められていきます。(地域政策課)